

経営成績及び財政状態

(1) 2013年度 第2四半期(2013年4月1日～9月30日)の概況

(A)経営成績

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	3兆7,063億円	3兆6,382億円	102%
営業利益	1,466億円	874億円	168%
税引前利益(△は損失)	2,074億円	△2,787億円	—
当社株主に帰属する 当期純利益(△は損失)	1,693億円	△6,852億円	—

2013年度第2四半期の世界経済は、インドなど新興国の一部で伸び悩みましたが、中国や欧州で持ち直しの動きが見られたほか、米国や日本では緩やかな景気拡大が続きました。このような経営環境のもと、当社グループでは、事業部制を核とした新たなグループ基本構造のもと、個々の事業の強さを取り戻すことをベースに、中期経営計画の重点施策「赤字事業の止血」「脱・自前主義による成長・効率化」「財務体質の改善」「お客様価値からの逆算による成長戦略」に取り組みました。

携帯電話事業では、国内通信事業者向けスマートフォンの新製品開発休止と、モバイル通信技術をはじめとする経営資源の新規・成長分野への戦略的再配置を決定しました。また、子会社であるパナソニックヘルスケア株式会社が担うヘルスケア事業のさらなる成長のためには、当社単独ではなく、他社の知見やノウハウを積極的に活用することが最適と判断し、同社株式の譲渡を決定しました。

当年度第2四半期においては、薄型テレビをはじめとするデジタルコンシューマー関連の事業が、収益重視の商品展開に加え、競争環境の変化や需要低迷の影響等により、減収となりました。一方で、グローバルでの市況回復を背景に車載関連事業が伸長し、国内の住宅関連事業も堅調に推移しました。円安による全般的な押し上げ効果もあり、連結売上高は3兆7,063億円と、前年同期比102%となりました。

利益につきましては、全社を挙げた固定費削減や合理化に取り組んだことに加え、円安の影響等もあり、営業利益は1,466億円と、増益となりました。また営業外収益として年金制度変更に伴う一時益798億円を第1四半期に計上したことなどにより、税引前利益は2,074億円、当社株主に帰属する当期純利益は1,693億円と、いずれも大幅増益となりました。

(B) 経営成績(セグメント別情報)

a. アプライアンス

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	6,104億円	5,789億円	105%
営業利益	172億円	287億円	60%

アプライアンスの売上高は、6,104億円（前年同期比5%増）となりました。中国における家庭用エアコンの販売減をはじめ、全体として苦戦を強いられましたが、円安効果により、増収となりました。営業利益は、合理化やコスト削減を推進しましたが、円安によるマイナス影響等により、前年同期から減益の172億円となりました。

b. エコソリューションズ

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	8,557億円	8,023億円	107%
営業利益	414億円	197億円	210%

エコソリューションズの売上高は、8,557億円（前年同期比7%増）となりました。日本における消費税増税前の駆け込み需要等により、エナジーシステム事業部、ハウジングシステム事業部の販売が好調に推移し、増収となりました。営業利益は、円安によるマイナス影響はありましたが、販売増およびコスト削減等の取組みにより、前年同期から大幅増益の414億円となりました。

c. AVCネットワークス

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	7,554億円	8,299億円	91%
営業利益（△は損失）	△165億円	△132億円	—

AVCネットワークスの売上高は、7,554億円（前年同期比9%減）となりました。テレビ、デジタルカメラ、携帯電話等のデジタルコンシューマー関連事業の販売不振および不採算機種の新規投入などにより、大幅な減収となりました。営業利益は、課題のパネル事業の改善は進んだものの、販売減により前年同期から悪化し、165億円の損失となりました。

d. オートモーティブ&インダストリアルシステムズ

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	1兆3,559億円	1兆2,779億円	106%
営業利益	582億円	280億円	208%

オートモーティブ&インダストリアルシステムズの売上高は、1兆3,559億円（前年同期比6%増）となりました。海外における自動車生産の好調な推移を受けたインフォテインメント等の車載関連事業の販売の増加に加え、円安効果もあり、増収となりました。営業利益は販売増等により、大幅増益の582億円となりました。

e. その他

	2013年度 第2四半期	2012年度 第2四半期	前年 同期比
売上高	3,934億円	4,376億円	90%
営業利益（△は損失）	54億円	△64億円	—

その他の売上高は、3,934億円（前年同期比10%減）となりました。2012年度に実施した三洋電機関連の事業譲渡の影響等により、減収となりました。営業利益は、54億円となりました。

(C) 財政状態

当第2四半期の営業活動により増加したキャッシュ・フローは1,615億円（対前年同期差1,412億円増）となりました。前年同期差の主な要因は、営業利益の増加に加え、棚卸資産の増加抑制等です。投資活動に使用したキャッシュ・フローは463億円（対前年同期差336億円減）となりました。前年同期差の主な要因は、有形固定資産の売却による収入は減少しましたが、設備投資に伴う支出を抑制したことです。また、財務活動に使用したキャッシュ・フローは1,702億円（対前年同期差1,238億円増）となりました。前年同期差の主な要因は、当期に短期社債の大部分を償還したことです。これらに為替変動の影響を加味した結果、当第2四半期末で現金及び現金同等物の残高は4,586億円となり、前年度末に比べ377億円減少しました。

また、当第2四半期末の総資産は5兆3,432億円となり、前年度末に比べ546億円減少しました。これは、円安の影響や、季節要因による棚卸資産の増加はありましたが、現金及び現金同等物や有形固定資産の減少等によるものです。負債は3兆8,361億円となり、前年度末に比べ2,574億円減少しました。これは、短期社債の償還等の有利子負債の圧縮や、退職給付引当金の減少によるものです。当社株主資本は1兆4,670億円となり、前年度末に比べ2,029億円増加しました。これは、当期純利益の計上に加え、円安等に伴うその他の包括利益（損失）累積額の良化によるものです。当社株主資本に非支配持分を加味した資本合計は1兆5,071億円となりました。

(2) 2013年度 通期の見通し

売上高については、テレビやデジタルカメラ、携帯電話等のデジタルコンシューマー関連事業の減収はありますが、円安の影響や堅調な住宅および車載関連事業等の増収などが見込まれます。また、この売上高の増減に伴う影響等により、営業利益の増益も見込まれます。

営業外損益においては、2013年9月27日に契約締結したパナソニック ヘルスケア株式会社の株式譲渡益を営業外収益として織り込む一方、構造改革の前倒し等による営業外費用の追加計上を見込んでおります。

これらにより、売上高、営業利益、税引前利益および当社株主に帰属する当期純利益の連結業績見通しを、それぞれ上方修正させていただきます。

連結業績見通し (通期)

売上高	7兆4,000億円 (前年比 101%)
営業利益	2,700億円 (前年比 168%)
税引前利益	2,100億円 (前年比 —)
当社株主に帰属する当期純利益	1,000億円 (前年比 —)

<将来見通しに関するリスク情報>

※ 業績見通しは、現在入手可能な情報と、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は見通しと大きく異なることがあります。
その要因のうち、主なものは以下のとおりですが、これらに限られるものではありません。
かかるリスク、不確実性およびその他の要因は、当社の有価証券報告書等にも記載されていますのでご参照ください。

- ・ 主要市場（日本、欧米、中国およびアジア等）の経済状況および製品需給の急激な変動
- ・ 産業界・消費者の需要動向
- ・ ドル、ユーロ、人民元等の対円為替相場の大幅な変動
- ・ 資金調達環境の変化等により、パナソニックグループの資金調達コストが増加する可能性
- ・ 急激な技術変化等による社会インフラの変動
- ・ 他企業との提携または M&A（パナソニック 電工および三洋電機の完全子会社化後の事業再編を含む）で期待どおりの成果を上げられない可能性
- ・ パナソニックグループが他企業と提携・協調する事業の動向
- ・ 多岐にわたる製品分野および地域において競争力を維持するパナソニックグループの能力
- ・ 製品やサービスに関する何らかの欠陥・瑕疵等により費用負担が生じる可能性
- ・ 第三者の特許その他の知的財産権を使用する上での制約
- ・ 諸外国による貿易・通商規制、労働・生産体制関連への規制等（直接・間接を問わない）
- ・ 保有する有価証券およびその他資産の時価や有形固定資産、のれんなどの長期性資産および繰延税金資産等の評価の変動、その他会計上の方針の変更
- ・ 地震等自然災害の発生、感染症の世界的流行、サプライチェーンの寸断、その他の事業活動に混乱を与える可能性のある要素